

「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」
北九州市 子ども・子育て支援事業計画（令和元年度実績）

資料4

令和2年3月1日現在

対象者	0歳児			1～2歳児			3～5歳児			合計									
	保育	3号		保育	3号		保育	2号		学校教育	1号								
利用する施設・事業	① 保育所 ② 地域型保育 ③ 認定こども園			① 保育所 ② 地域型保育 ③ 認定こども園			① 保育所 ③ 認定こども園			③ 認定こども園 ④ 幼稚園			学校教育・保育 ① 保育所 ② 地域型保育 ③ 認定こども園 ④ 幼稚園						
利用希望（需要） 及び 提供体制（供給）	計画（A）	実績（B）	B-A人 【B/A】%	計画（A）	実績（B）	B-A人 【B/A】%	計画（A）	実績（B）	B-A人 【B/A】%	計画（A）	実績（B）	B-A人 【B/A】%	計画（A）	実績（B）	B-A人 【B/A】%				
	利用希望	2,999人	3,972人	32.4% 973人	利用希望	6,324人	7,138人	12.9% 814人	利用希望	8,632人	9,839人	14.0% 1,207人	利用希望	14,442人	12,561人	▲13.0% ▲1,881人			
	提供体制	3,429人	2,998人	▲431人 【87.4%】	提供体制	7,729人	7,029人	▲700人 【90.9%】	提供体制	10,951人	10,179人	▲772人 【93.0%】	提供体制	13,287人	13,136人	▲151人 【98.9%】	提供体制	35,396人	33,342人
差引	430人	▲974人		差引	1,405人	▲109人		差引	2,319人	340人		差引	▲1,155人	575人					

提供体制（供給）実績 内訳	施設数	計	2,998人
	163	①保育所	2,484人
	45	②地域型保育	小規模保育 267人
	14		家庭的保育 40人
	7		事業所内保育 39人
	22	③認定こども園	168人
30			
49			

計	7,029人
①保育所	5,868人
②地域型保育	小規模保育 581人
	家庭的保育 32人
	事業所内保育 68人
③認定こども園	480人

計	10,179人
①保育所	9,199人
③認定こども園	980人

計	13,136人
③認定こども園	1,485人
④幼稚園	新制度移行 3,071人
	従前通り 8,580人

合計	33,342人
①保育所	17,551人
②地域型保育	小規模保育 848人
	家庭的保育 72人
	事業所内保育 107人
③認定こども園	3,113人
④幼稚園	新制度移行 3,071人
	従前通り 8,580人

待機児童	128人
------	------

29人

6人

—

163人

施設・事業種別	対象者	学校教育・保育	設置数
①保育所	0～5歳児	保育	163
②地域型保育	0～2歳児	保育	小規模保育 45
			家庭的保育 14
			事業所内保育 7
③認定こども園	0～5歳児	学校教育・保育	22
④幼稚園	3～5歳児	学校教育	新制度移行 30
			従前通り 49
計			330

◎実績に対する評価、課題及び改善策◎

《評価》

●利用希望について

・計画(A)と実績(B)の差について、1～2歳児は12.9%(814人)、3～5歳児は、保育:14.0%(1,207人)・学校教育:▲13.0%(▲1,881人)と、概ね13%前後となっているが、0歳児については、計画(A)と実績(B)に32.4%(973人)の差が生じている。

※3～5歳児の「保育」の計画(A)の数値について

3～5歳児「保育」の計画値は、計画上の数値(12,099人)から、学校教育(幼稚園等の入園)を強く希望する家庭の子ども(3,467人)を「学校教育」に移した後の数値。

●提供体制について

・実績(B)は、いずれの年齢区分においても、計画(A)の約90%を充足しており、概ね目標を達成できたと考えている。

・なお不足分(保育)については、令和2年4月時点で、認定こども園や保育所の老朽改築等の新たな整備を完了し、既に139人分受け皿を拡大し受け入れを行っている。

《課題及び改善策》

・0歳児の利用希望については、計画(A)と実績(B)の差が32.4%となった。このため、第3次計画(令和2～6年度)では、より実態に即した計画となるよう、第2次計画の実績から推計した認定区分ごとの各年度の利用意向率に今後の推計児童数を乗じて必要量を見込むこととした。

・待機児童解消のためには、施設整備という受け皿づくりだけでなく、担い手となる保育士の確保も必要である。そこで、潜在保育士の就職支援や、保育士の雇用の安定に資するため、処遇改善や「北九州市保育士・保育所支援センター」の運営を引き続き実施し、待機児童の継続的な解消に向けた取り組みを進める。

資料4 「北九州市子ども・子育て支援事業計画」の見方

【元気発進！子どもプラン第2次計画】

令和2年3月1日現在

対象者	0歳児			
利用する施設・事業	保育 3号			
	① 保育所			
	② 地域型保育			
利用希望(需要)及び提供体制(供給)		計画(A)	実績(B)	B-A人 【B/A】%
	利用希望	2,999人	3,972人	32.4% 973人
	提供体制	3,429人	2,998人	▲431人 【87.4%】
	差引	430人	▲974人	

1. どういう計画を立てていたか

	計画(A)
利用希望	2,999人
提供体制	3,429人
差引	430人

利用希望を 2,999 人と見込み、これに対応する受け皿を 3,429 人分整備する計画であった。

2. 実際は、どれだけ希望があったのか、また、その希望に対し、どれだけ受け皿を整備できたのか

	実績(B)
利用希望	3,972人
提供体制	2,998人
差引	▲974人

実際の希望は 3,972 人。これに対し、受け皿は 2,998 人分を整備。974 人の受け皿が不足する結果となった。(3月時点)

提供体制(供給)実績	施設数	計	2,998人	
	内訳	163	①保育所	2,484人
45		②地域型保育	小規模保育	267人
			家庭的保育	40人
			事業所内保育	39人
7	③認定こども園	168人		

待機児童

128人

3. 利用希望の見込みはどうだったか

	計画(A)	実績(B)	B-A人 【B/A】%
利用希望	2,999人	3,972人	32.4% 973人

計画では、2,999 人と見込んでいたところ、結果は 3,972 人で、見込みを 973 人上回った。計画と実績の乖離率は、32.4%。

4. 受け皿をどれだけ整備できたか

	計画(A)	実績(B)	B-A人 【B/A】%
提供体制	3,429人	2,998人	▲431人 【87.4%】

3,429 人分整備する計画であったところ、2,998 人分を整備した。計画の約9割(87.4%)を充足した。

5. 待機児童 (3月時点)

2. より、974人分の受け皿が不足。このうち、特定の保育所等を希望する人を除く128人が待機児童。

※3月時点(年度末)の待機児童数。4月時点、10月時点の待機児童は0人。

